

JFA 第 29 回 全日本フットサル選手権大会 北海道代表決定戦 開催要項

2023 年 5 月 22 日に赤字を修正。

1. 主 旨 日本でのフットサルの普及・振興のため、15 歳以上の学生・社会人のフットサル大会を開催し、併せてフットサル技術の向上と健康な心身の育成を図ることを目的として、本大会を実施する。
2. 名 称 JFA 第 29 回 全日本フットサル選手権大会 北海道代表決定戦
3. 主 催 公益財団法人北海道サッカー協会、一般社団法人北海道フットサル連盟
4. 主 管 15 地区サッカー協会及び 5 地区フットサル連盟
5. 後 援 北海道、北海道教育委員会、公益財団法人北海道スポーツ協会、釧路市、釧路市教育委員会、釧路市スポーツ協会、一般財団法人釧路市スポーツ振興財団
6. 協 賛 株式会社ミカサ
7. 期 日 予選ラウンド 2023 年 6 月～ 11 月下旬 各地区にて開催
決勝ラウンド 2024 年 1 月 6 日(土)～ 1 月 7 日(日) 釧路市
8. 会 場 予選ラウンド 各地域の体育館(参加チームが確定次第、別途通知する。)
決勝ラウンド ○ウインドヒルくしろスーパーアリーナ
釧路市広里 18 番 大規模運動公園内 TEL:0154-38-9800
9. 参加資格 (1) 公益財団法人日本サッカー協会(以下、JFAという。))に「フットサル 1 種」または「フットサル 2 種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。
(2) JFAに承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、本項の適用対象となる選手の年齢は、「フットサル 2 種」のみとし、「フットサル 1 種」年代の選手は適用対象外となる。
(3) 第 1 項、または第 2 項のチームに所属する 2008 年 4 月 1 日以前に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
(4) 外国籍選手は 1 チームあたり 3 名までとする。
(5) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。
(6) 本大会フットサル登録料(2,000 円)を所属地区サッカー協会において納入完了していること。
(7) 当該年度の(一社)北海道フットサル連盟(以下、「HFF」という。)に加盟したチーム。(HFF のフットサル登録料の振込完了を以って加盟したチームとする。)
10. 参加チーム及びその数 参加チームは、次の各号により選出されたチームとする。
(1) 前年度に本大会を優勝・準優勝した 2 チーム
(2) 北海道フットサルリーグから 10 チーム(上記(1)のチームを除く)
(3) 所属地区サッカー協会から承認されたチーム
11. 大会形式 (1) 全てトーナメント方式で行う。
(2) 決勝ラウンドは、8 チームで行なう。
(3) 前年度に本大会を優勝・準優勝した 2 チームは決勝ラウンドからの出場を義務付ける。
(4) 3 位決定戦は行わず、準決勝敗退の両チームを 3 位とする。
(5) 上記(3)を除く、北海道フットサルリーグに所属するチームは、ベスト 16 から出場することができる。なお、1 回戦からの出場は認められない。
(6) 1 回戦から参加するチームの組み合わせは、①同一の所属地区サッカー協会・②同一のブロック・③近隣の地区サッカー協会、の順に HKFA フットサル委員会が抽選を行なう。
(7) ベスト 16 の組み合わせは、1～2 回戦を勝ち上がったチームと北海道フットサルリーグに所属するチームで HKFA フットサル委員会が抽選を行なう。

- (8) 本年度に限り、第 24 回 北海道フットサルリーグ 2023 1stステージの順位が第 1 位のチームを決勝ラウンドからの出場を認める。
12. 競技規則
13. 競技会規程
- 大会実施年度のフットサル競技規則による。
- (1) ピッチ:
原則として 40m×20m とする。
使用する体育館の形状により変更する場合がある。
- (2) ボール
試合球:ミカサフットサル 4 号検定球(FS450B)
- (3) 競技者の数
競技者の数:5 名
交代要員の数:9 名以内
ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数:2 名以内
- (4) チーム役員の数
5 名以内(ただし、通訳が試合に登録されている場合は、6 名以内とする。)
- (5) ①ユニフォーム
- (ア) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ソックス)を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携帯すること。
- (イ) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
- (ウ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
- (エ) シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
- (オ) 選手番号については 1 から 99 までの整数とし、0 は認めない。1 番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
- (カ) ユニフォームへの広告表示については、JFA の承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
- (キ) F リーグチームのユニフォームについては、F リーグユニフォーム規定に準じる。
- (ク) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- (ケ) 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- (コ) その他、ユニフォームに関する事項については、JFA のユニフォーム規程に則る。
- (サ) 原則的にユニフォームにゼッケン(張り番)は認めない。例外的に大会運営委員会が認めた場合は、ユニフォームと同色の布に番号と同色の番号を付け、必ず全ての面を縫い合わせたものを使用すること。

②靴:

キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのものとする。但し、ノンマーキングシューズは靴底が着色されたものでも施設が許可をしている場合は、着用可能とする。なお、チーム役員にも適用する。

③ビブス:

交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。

(6) 試合時間

40分間(各20分間からなる2つのピリオド)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは10分間(第1ピリオド終了から第2ピリオド開始まで)とする。

(7) 試合の勝者を決定する方法(競技時間内で勝者が決しない場合)

① 予選ラウンドと決勝ラウンドにおいて下記②を除き、勝敗が決定しない時は、PK方式により勝敗を決定する。

② ベスト16を決する試合及び準決勝、決勝戦において、勝敗が決定しない時は、10分間(各5分間からなる2つのピリオド)の延長戦を行い、決しない場合はPK方式により勝敗を決定する。延長戦に入る前のインターバルは5分間とし、PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。

(8) タイムアウトは、全ての試合で適用する。

14. 懲 罰

(1) 本大会は、(公財)日本サッカー協会が定める懲罰規程に基づき、本大会に係る懲罰問題を処理するため、大会規律委員会を設置する。

(2) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。

(3) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。なお、準決勝進出チームの選手が受けた決勝ラウンド1回戦までの警告の累積は、準決勝以降に持ち越さない。

(4) 前項により出場停止処分を受けたとき、また、本大会の終了時に、警告の累積は消滅する。

(5) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。(ただし、JFA第28回全日本フットサル選手権大会出場チームはこの大会で行うこと。)

(6) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは0対5又はその時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。

(7) 本大会の大会規律委員会は、警告の累計2回による退場処分、及び出場停止処分1試合までの懲罰問題を処理する。

(8) 大会規律委員会の委員長は、HKFAフットサル委員長とし、委員は2名以上で構成すること。

(9) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。

15. 参加料等

(1) 参加意向調査を行ない、参加チームはHKFAフットサル委員会にて決定し、参加チームに通知する。

(2) 参加意向調査で参加する意向を示した後に参加を取り消す場合は、次年度以降の参加を認めない場合がある。

(3) 1回戦から参加するチームは、参加チーム数及び試合数によって、2回戦以降の参加料を別途支払う。

(4) 参加料の目安は以下の通り。(正式には参加チーム数が確定してから決定する。)

	30 チーム	20 チーム	15 チーム
① 優勝・準優勝	80,000 円	80,000 円	80,000 円
② 道リーグ	80,000 円	80,000 円	80,000 円
③ 1 回戦	35,000 円	40,000 円	50,000 円
④ 2 回戦以降	30,000 円	—円	—円

16. 参加申込

- (1) 別紙の参加意向調査書を下記(2)の期日までに下記(10)の申込先(C)に E-mail にて提出していること。
 - (2) 参加意向調査書の提出期限は、2023 年 5 月 19 日(金)17 時まで厳守とする。
 - (3) HKFA フットサル委員会は、2023 年 6 月 2 日(金)17 時まで、参加料を参加チームに通知する。
 - (4) 1 チームあたり 26 名(選手 20 名、役員 6 名)を上限とする。
 - (5) 参加申込は、所定の書式(下記(10)申込先(A)に記載の a ~ d)を下記(8)の期日までに申込先(A)の所属地区サッカー協会宛てに E-mail で送付すること(所属地区サッカー協会を通じて、申込先(B)、(C)に送付される)。
※チームは事前に所属地区サッカー協会の申込みアドレスを確認すること。
 - (6) 参加料等は、申込みと同時に申込先(C)へ納入すること。
 - (7) 親権者の承認印のある親権者同意書を下記(8)の期日までに申込先(B)に送付すること。なお、2023 年度中に提出済みの場合は不要。
 - (8) 申込締切日：2023 年 6 月 9 日(金)17 時まで厳守とする。
 - (9) 各チームにおける本大会の初戦の 2 週間前までの参加申込内容の変更を認める。それ以降の変更は認めない。所定の書式を申込先(A)の所属地区サッカー協会宛てに E-mail で送付すること(所属地区サッカー協会を通じて、申込先(B)、(C)に送付される)。
 - (10) 申込先(A) 所属地区サッカー協会事務局
 - a 参加申込書(E-mail)
※選手及びチームの登録番号を必ず記載のこと。
 - b ユニフォームカラー報告用紙(E-mail)
※ユニフォーム正副、裏表の写真貼付のこと。デザイン画は不可
 - c プライバシーポリシー同意書(E-mail)
 - d 懲罰処分についてのアンケート(E-mail)
- 申込先(B) (公財)北海道サッカー協会
〒062-0912 札幌市豊平区水車町 5 丁目 5-41
北海道フットボールセンター 内
TEL:011-825-1100 FAX:011-825-1101
・親権者同意書(郵送) ※チーム対応
- 申込先(C) (一社)北海道フットサル連盟(HFF)
〒062-0003 札幌市豊平区美園3条7丁目2番6号 松園ビル1階
TEL:011-827-7638 FAX:011-827-9738
※大会申込専用アドレス E-mail:entry-hff@futsal.jp
- 振込口座
北洋銀行 南郷通支店 (普)3912478
一般社団法人 北海道フットサル連盟
会長 北林 剛(キタバヤシ ツヨシ)

17. 組合せ

組み合わせは、(公財)北海道サッカー協会において抽選し決定する。なお、組み合わせ結果は(公財)北海道サッカー協会の公式ホームページにて確認すること。
<https://www.hfa-dream.or.jp/> (大会情報・フットサル)

18. 帯同審判 帯同審判員制は行なわない。全ての試合を HKFA 及び主管 FA の審判委員会から派遣する。
19. 監督会議 (1) 日時 2023年6月14日(水) 19時30分から
(2) 会場 オンライン会議とする。
会議用 URL は後日チーム連絡責任者宛てに送付する。
20. 開会式 開会式は実施しない。
21. 表彰及び閉会式 (1) 優勝、準優勝チームには表彰状及びトロフィーを、第3位のチームには表彰状を授与する。なお、優勝チームには(公財)北海道サッカー協会杯を授与して次回までこれを保持する。
(2) 表彰式並びに閉会式は、決勝戦終了後に試合会場にて行う。
22. マッチコミッショナー 原則としてマッチコミッショナーを配置する。
23. マッチコーディネーションミーティング (1) マッチコーディネーションミーティング(以下、MCM という。)
① キックオフ時刻の80分前にマッチコミッショナー、両チーム代表者、審判員とのMCMを行う。チーム代表者は必ずMCMに出席しなければならない。
② 準決勝においては、JFA認定マッチコミッショナー、運営スタッフ、両チームの監督及び審判員出席のもと以下について行う。
(ア) 選手証のチェックを行う(MCMの際、各チーム持参すること)。
(イ) FP及びGKそれぞれの正副2種類のユニフォーム(パワープレーを行うチームはパワープレー用ユニフォームも含む)、競技中に着用するビブス(メーカーは不問。対戦チームのユニフォーム色も考慮し、複数色のビブスの用意があるのが望ましい。)を各色1枚持参すること。両チームのユニフォーム等の色を決定する。
(ウ) タイムスケジュール、出場停止選手、試合前セレモニーの進行内容、モラル、その他通達事項の遵守などについて確認を行う。
(2) メンバー提出用紙は、MCM時に提出すること。
(3) 各チームの登録選手は、原則としてJFA発行の選手証を持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。
※選手証とは、JFAのWEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。
(4) チームの監督は、監督会議の出席及び各試合ともベンチに入ることを義務付ける。ただし、やむを得ず、監督会議に出席することが出来ない場合又は試合のベンチ入りが出来ない場合は、速やかに所属地区サッカー協会を通じて電子メールにより(公財)北海道サッカー協会に理由及び代理出席者(参加申込書記載の役員から)氏名を届け出ること。また、不測の事態により、当日急遽欠席する場合は、電話等で主管協会に連絡すること。なお、監督が無断欠席の場合は、そのチームは原則試合出場を認めないものとする。
(5) 選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、当該試合を没収し、以後の当該チームの出場を停止する。
(6) 震災等、不測の事態が発生した場合には、本大会運営委員会において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
(7) 競技時間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいては摂取可能な飲料は「水のみ」に限定する。但し、熱中症対策を講じる場合は、JFA「熱中症対策マニュアル」に基づきスポーツ飲料を認める場合がある。
24. 負傷及び事故の責任 (1) 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師及び救急用具の準備は各チームの責任において行うこととする。
(2) 参加チームはスポーツ保険又はそれに準じた保険に加入していること。

25. そ の 他
- (1) 本大会は、以下の感染対策に従うことを前提として有観客で実施する。但し、観客スペースに余裕がない場合は、人数等を制限する場合がある。なお、今後の国及び自治体の対応を踏まえ、弾力的に取り扱うものとする。
 - ①観客は、入館の際にマスクの着用、検温、手指消毒行うこと。
 - ②検温の結果、高熱(37.5℃以上)の場合は、観戦(入館)することができない。
 - ③観戦中は、マスクを着用し、大声での応援は行わない。
 - ④その他、運営側の感染対策に従うこと。
 - (2) **本大会にあたっては、以下通知の通りとする。**
『新型コロナウイルスの5類感染症移行に伴う今後の HKFA 主催事業 について (通知)』 <https://www.hfa-dream.or.jp/information/20230519-02/>
 - (3) 優勝のチームには、2024年2月24日から開催される JFA 第29回全日本フットサル選手権大会の参加を義務付ける。ただし、優勝が新型コロナウイルス感染症の影響を事由に出場を辞退した場合は、準優勝のチームを繰り上げて参加を義務付ける。なお、JFA から、チームの交通費、宿泊費の一部が支給される。
 - (4) 組み合わせ決定後に参加者が参加を辞退した場合、および主催者もしくは主管地区協会が新型コロナウイルス感染リスクを鑑みて参加を認めない場合も参加辞退と同様の扱いとし、既に支払われた参加料については返却しないこととする。
 - (5) 本開催要項に記載のない事項については、(公財)北海道サッカー協会フットサル委員会にて決定する。

以 上